



「精度のパイオニア」が北京へ

没入感のある豊かで文化的な展示を通して
正確な計時の芸術と科学を探求します

概要：

- およそ2世紀にわたる精度の追求：4つの章で綴られる創意工夫の物語
- クラフツマンシップを称え、重要な技術を試し、時計製造の体験ワークショップに参加
- 「メイド・オブ・メーカーズ」プログラムのもと、ライトペインティングアーティスト、ロイ・ワンとのコラボレーションで、芸術と高級時計製造の出会いを実現

今年9月北京の中心地で、ジャガー・ルクルトは、約200年にわたる精度の追求がいかに高級時計製造の芸術を発展させてきたかを一般の方々にご紹介します。4月にジュネーブで開催された **Watches and Wonders Geneva 2024** での披露、5月のドバイでの初開催に続き、北京はこの展示会の中国での最初の開催地となります。東城にある **WF セントラル** の特設パビリオンで開催される「精度のパイオニア」は、2024年9月14日から10月3日まで開催され、無料で一般公開されます。

来場者は、「製造と装飾の精度」、「クロノメトリの精度」、「調整機構の精度」、「複雑機構の精度」の4つの大きなテーマを通して、精度の物語をご覧ください。また、以下の体験がプログラムをさらに彩ります。

- 来場者が参加可能な時計製造の重要な技術の実演
- ジャガー・ルクルトのマニファクチュールの舞台裏を紹介するビデオシリーズ「イン・ザ・メイキング」に特化したシネマスペース
- ストリートライトペインターのロイ・ワンによる幻想的なアートワークと、アーティストによるライブデモンストレーション
- コレクタブルズ：20世紀半ばの最も象徴的なモデルの見本の販売
- 現在のコレクションの主要なアイテムに触れ、試すことができる専用ルーム
- 世界初公開となる2つの特別な新作ハイコンプリケーションウォッチ
- メゾンのことをもっと知りたいゲストは、**WF セントラル** のブティックにて、アトリエ・ド・アントワヌのディスカバリーワークショップをご予約いただけます。



精度の追求 - 4つの章からなる創意工夫の物語

精度の追求は、ジャガー・ルクルトにとって特別な意味を持ちます。1833年にマニファクチュールを設立する以前から、アントワヌ・ルクルトは精度にこだわり、彼の発明は時計製造業界全体に大きな影響を与えました。数十年にわたり精度の研究を続けてきた結果、画期的な技術が次々と生み出され、ジャガー・ルクルトが所有する430の特許のほとんどが、この分野での研究によって取得されました。今日、現代の技術によって、時計製造の主要な工程は精密科学へと変貌を遂げましたが、原材料となる金属から完成品に至るまですべての工程において、人の手による正確な作業が技術によって完全に代替されることがないのは、優れた機械式時計に魂を吹き込むのは、まさに人の手の技によるものだからです。

機械式時計製造の魔法を称え、中核にある知的な厳密さと技巧を明らかにした「精度のパイオニア」は、4つの章で精度に関する興味深い物語を伝えます。

製造と装飾の精度では、アントワヌ・ルクルトの精密さへのこだわりが、いかにして現代の時計製造の基礎を築き、200年を経た今もなおジャガー・ルクルトの原動力となっているかがわかります。

クロノメトリーの精度では、19世紀の懐中時計から、厳格な1000時間コントロールの下で認定された今日の新しいモデルまで、マニファクチュールのクロノメーター時計の開発におけるマイルストーンを示します。

調速機構の精度では、正確な計時を実現し維持するために、調速器官（ヒゲゼンマイとヒゲゼンマイ）が果たす重要な役割を明らかにします。**複雑機構の精度**では、余分なエネルギーの爆発を必要とする複雑さを加えると同時に、エネルギーの完璧な流れを維持する方法といった、時計製造における基本的な難問を探求します。

クラフトマンシップを称賛

展覧会にはシネマスペースが設けられ、ジャガー・ルクルトのマニファクチュールの舞台裏を紹介するショートフィルム「イン・ザ・メイキング」シリーズが上映されています。来場者は、精度というテーマに特に関連する時計製造の技術や芸術の側面に浸ることができます。各フィルムは、一つの技術に焦点を当てており、時計製造工程のめったに見ることのできない段階を紹介しています。また、フィルムでは職人が自身の言葉で工程を説明しています。

また、時計の部品に施されるペルラージュ装飾とムーブメントの組み立てという2つの重要な技術の実演をご覧ください。さらに、希望者には実際にこれらの技術を体験していただくことができます。



体験型の知識の旅

時計製造への理解を深めたい方のために、「精度のパイオニア」展に加え、アトリエ・ド・アントワーンによるディスカバリーワークショップも開催されます。ワークショップは、ジャガー・ルクルトの新しいフラッグシップブティック内の専用スペースで開催されます。ブティックは展覧会から徒歩3分のWFセントラル1階にあり、入り口は王府井通りとショッピングモール内にあります。

精度に焦点を当てたこのディスカバリーワークショップでは、時計製造のあらゆる段階で精度が決定的に重要である理由を知ることができます。このダイナミックでインタラクティブなディスカバリーワークショップの参加者は、ジャガー・ルクルトの専門家による指導のもと、時計製造の重要な技術を自分の手で試すことができる貴重な機会をはじめとする多くの驚きに出会えるでしょう。

芸術と高級時計製造の出会い

ジャガー・ルクルトが「メイド・オブ・メーカーズ」プログラムのもとで開始したコラボレーションも、「精度のパイオニア」の一環として同時に展示されます。「メイド・オブ・メーカーズ」は、時計製造以外の分野のアーティスト、デザイナー、職人たちとのコラボレーションを通じて、時計製造とアートの間にある対話を追求しています。このプログラムではこれまで、視覚芸術、美食、音楽を取り上げてきました。

ライトペインティングアーティストであるロイ・ワンは、ジャガー・ルクルトの依頼を受け、「精度のパイオニア」のテーマを魅力的なビジュアルアートで表現した4つの作品を発表します。王府井通りの特設スペースに展示される3枚のライトペインティングの写真とストップモーションのビデオは、道行く人々にこの展覧会を予感させるものです。世界的なライトペインティングの新星、ロイ・ワンは、伝統的な絵画技法と最先端技術を融合させ、時空を超えた作品を創作しました。会期中、作家はライブパフォーマンスを行いながら、新しいライトペインティング作品を制作します。また、ライトペインティングを体験できるフォトブースも設置されます。

来場者は、「ザ・プレジジョン・アトリエ」で軽食を楽しみながら、より充実した時間を過ごすこともできます。

「精度のパイオニア」は、2024年9月14日から10月3日まで、北京市東城にあるWFセントラルのThe Greenで開催され、月曜から木曜日の午前11時から午後8時まで、金曜日から日曜日、および祝日の午前10時から午後10時まで無料で一般公開されます。展示会場では、係員を通じてガイドツアーをご予約することができます。アトリエ・ド・アントワーン ディスカバリーワークショップのご予約は、WFセントラルのブティックのセールスアソシエイトまでご連絡ください。



「精度のパイオニア」について

1833年の創業以来、ジャガー・ルクルトの中核を成す価値観である精度への追求は、非常に重要な意味を持っています。グランド・メゾンの創業期は、ピニオンの歯をかつてない精度で切削する工具（1830年）と、ミクロン単位での計測が可能な世界初の測定器であるミリオノメーター（1844年）といった、アントワーヌ・ルクルトの2つの重要な発明の上に築かれています。この2つは、時計製造業全体に大きな影響を与えました。マニファクチュールでは、ジャイロトゥールビヨンとして知られる初の多軸トゥールビヨンや、さまざまな形状のヒゲゼンマイの開発など、精度を追求する研究によって画期的な技術が次々と生み出されてきました。（ジャガー・ルクルトは、自社で独自のヒゲゼンマイを製造する数少ない時計メーカーのひとつです。）コンプリケーションキャリバーでは、デュオメトルのシステムの発明により、複雑機構の動作によって等時性（その「鼓動」の規則性）が損なわれることはありません。1992年以来、信頼性と計時精度を保証するため、ジャガー・ルクルトは開発プロジェクトの一環として、対象となる各モデルに 1000 時間コントロール認証を導入しています。この唯一無二のプログラムは、公式クロノメトリーテストをはるかに上回る内部認定テストが含まれています。

ジャガー・ルクルト - ウォッチメーカーの中のウォッチメーカー™

1833 年以来、ジャガー・ルクルトは、革新性と創造性への抑えきれない渴望に導かれ、故郷ジュウ渓谷の平穏な自然環境からインスピレーションを得て、複雑機構への熟練した技術とその精度で際立った存在となっています。ウォッチメーカー™ の中のウォッチメーカーとして知られるマニファクチュールは、1,400 を超えるキャリバーの制作と 430 以上の特許を通して、その絶え間ない革新の精神を表現してきました。ジャガー・ルクルトの時計職人たちは、190 年以上にわたる蓄積された専門知識を駆使して、最先端の精密なメカニズムの設計、製造、仕上げ、装飾を行い、何世紀にもわたるノウハウと情熱を融合させ、過去と未来をつないでいます。時代を超え、常に時と共にあります。180 種類もの専門技術がひとつ屋根の下に集結したマニファクチュールは、その技巧に、デザインの美しさと独特で控え目な洗練とを組み合わせ、高級時計に息吹を吹き込んでいます。
